

獣医学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 『魚病学 第2版』（第1刷） 訂正とお詫び

ISBN978-4-89531-942-3

下記の箇所に誤りがございました。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

株式会社 緑書房

訂正箇所	誤	正
p.107 エドワジエラ症 「原因」1行目	腸内細菌科	腸内細菌目
p.111 レッドマウス病 「原因」1行目	腸内細菌科	腸内細菌目
p.152 図11-4	網地に絡まった <i>B. seriolae</i> の虫卵(左)と孵化幼生(右)。幼生は繊毛(→)で遊泳し、眼点(→)で光を感知し、正の走光性を有する(白樫原図)	<i>B. seriolae</i> (左)と <i>N.girellae</i> (右)の成虫。固着盤(→)の形状や口前吸盤(→)間の凹凸で区別できる(白樫原図)
p.153 図11-5	<i>B. seriolae</i> (左)と <i>N. girellae</i> (右)の成虫。固着盤(→)の形状や口前吸盤(→)間の凹凸で区別できる(白樫原図)	網地に絡まった <i>B. seriolae</i> の虫卵(左)と孵化幼生(右)。幼生は繊毛(→)で遊泳し、眼点(→)で光を感知し、正の走光性を有する(白樫原図)